

編集後記

「中国、ゴードンベル賞を初受賞」、今年の11月に衝撃的なニュースが飛び込んできました。中国の計算機がTOP500のトップでも、アプリケーションについてはまだまだという印象が強かったのですが、日本ものんびりしてはいられませんね。

一方で日本に目を向けると、「京」がHPCGの性能スコアでトップを獲得しました。HPCGは連立一次方程式を反復法で解くベンチマークであり、実際のアプリケーションによく現れる計算です。前回のスコアでは二位でしたが、さらに性能改善を進

めて、今回トップになったようです。弛まぬ努力に感服しました。TOP500の七位である「京」のスコアがTOP500のトップである中国の「神威太湖之光」のスコアを大きく超えているのですから、いかに京の性能が高い（演算、通信、メモリ等の統合的なバランスが良い）かが示された結果だと考えられます。なお、HPCGの性能改善については、RIST New No.59にご寄稿いただいていますので、ご興味のある方は是非ご参照ください。

(長谷川)